

長崎県 母子連のあゆみ

発行日/令和6年3月

発行/一般社団法人 長崎県母子寡婦福祉連合会

長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター県棟1F

TEL(095)846-8722 FAX(095)848-7456



ごあいさつ

長崎県福祉保健部 児童政策局長 浦 亮治

暖かい春の日差しを感じる季節となりましたが、皆様方におかれましては、一層ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃からひとり親家庭の福祉の向上にご尽力を賜りますとともに、県政に対しまして、温かいご理解とご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

依然として注意が必要なものの、ようやくコロナ禍以前のようにイベント等が開催できるようになり、昨年11月には本県で初めてとなる全国母子寡婦福祉研修大会が貴会主催にて開催されました。開催にご尽力いただきました実行委員会並びに関係の皆様方におかれましては、大変お疲れ様でございました。全国で活動されている皆様とともにひとり親の福祉の向上を目指して研鑽を積み、皆様の活動がひとり親家庭にとって重要であることを改めて感じられたことと思います。母子会は、離別などによってひとり親になられた方の早期自立に向けた相談支援等を行うなど、共助の精神に基づく意義深い活動が行われている一方、全国同様の課題として、活動を担う人材が不足しているといった課題にも直面しております。皆様方におかれましては、研修会で学んだことをぜひ今後の取り組みに活かし、母子会の活性化につなげていただければ幸いです。

国におきましては昨年4月、子どもの意見を施策に反映すること等が定められた「子ども基本法」が施行されるとともに、「子ども家庭庁」が発足し、12月には「子ども大綱」が閣議決定されました。こうした国の動向を踏まえながら、県といたしましては、大石県政のもと、子ども施策を県政の基軸に位置付け、関連施策の充実・強化に努めているほか、県庁全体で、「新しい長崎県づくり」の概ね10年後のありたい姿と施策の方向性を示したビジョンの推進に取り組んでおり、その重点分野の1番目に、子ども分野を位置付けております。

仕事と子育てを一手に担わざるを得ないひとり親家庭は、いわゆる「時間の貧困」に陥りやすく、親子で心穏やかに過ごす時間を持っていないことも課題とされる中、ビジョンでは、「子ども時間」の確保をありたい姿の一つに掲げたところであります。ひとり親家庭の自立の推進に向けて、子育てや生活支援の充実などきめ細やかな施策に取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後とも一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の今後益々の御健勝と御多幸を心からお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

理事長 松本 幸子

会員の皆様には、日ごろから母子会の活動に多大なご支援とご協力を頂き、心からお礼を申し上げます。引き続き、今年度もどうぞ宜しくお願い致します。

新年早々に能登半島地震が発災し、北陸4県が深刻な被害を受け、亡くなられた方の御冥福と被災された方には心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧を願っております。

又、昨年は、ここ数年来の目標としてまいりました「全国母子寡婦福祉研修大会及び第70回九州地区母子寡婦福祉研修大会」をアルカス SASEBO に於いて無事盛会に終えることが出来ました。会員の皆様始め、関わって下さいました全ての関係者の皆様へ、心からのお礼と感謝申し上げます。

それから、今年もひとり親家庭へ向けて、ローソン様から「夢」を応援する給付型奨学金の募集が継続して実施されます。夢を諦めないで、多くの方の応募をお待ちしております。別枠で吉川金属株式会社様からの奨学金事業(高校新一年生のみ)もありますので対象者の方は奮って申請をしてみてください。なお、令和6年度の長崎県母子寡婦福祉研修大会は、東彼杵郡が開催当番となっております。

波佐見町の文化会館(ウエーブホール)で7月28日(日)に開催予定です。現在、東彼杵郡の役員さんを中心に、準備をして下さっております。波佐見地区の郷土芸能「人形浄瑠璃」の出演も計画されているようです。

体験発表は県内3か所の会員さんが、それぞれ発表してくれます。他支部の会員の皆様の心強いご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

たくさんの方の会員さんに参加をしていただき、東彼杵郡開催の県大会を楽しく盛り上げていきましょう! まもなく新学期を迎え、それぞれ進級や入学と新しい環境へと踏み出す時期となりますが、会員の親や子ども達が、元気で笑顔で新年度を迎えられます様、お祈り申し上げます。



令和5年度全国母子寡婦福祉研修大会



母子寡婦会



来賓の皆様

令和5年11月18日～19日にアルカス SASEBO に於いて全国母子寡婦福祉研修大会が開催されました。

アンケートから抜粋

【運営】

- ・大会運営ご苦労様でした。楽しい2日間でした。講演も素晴らしく良かったです。又、再会できますように。有難うございました。
 どれほど準備が大変だったか想像もつきません。みごと！みごと！感動をありがとうございました。お疲れさまでした。
- ・企画運営していただき有り難うございました。
- ・準備が大変だったと思います。とても良い大会でした。お疲れさまでした。
- ・準備を含めて大変だったと思いますがいろいろとありがとうございました。
- ・お疲れ様です。盛会に終わりよかったです。
- ・内容の濃い研修会でした。運営大変お疲れさまでした。
- ・大会準備等お疲れさまでした。九州大会のお世話も大変なのに全国大会というとても準備何をしていいかわからない中、良くされたと思います。この経験を母子会の活動に生かしてください。
- ・全国大会、準備から開催、片付けと本当にお疲れ様です。一同が集まって、考えを再認識することの大切さを実感しました。有難うございました。今後もひとり親家庭が少しでもよりよい生活を送れるように。
- ・いたるところに配慮のある温かい大会でした。心より感謝を申し上げます。スタッフの皆様が笑顔で優しくてすがすがしい思いです。
- ・18日の研修終了後、宿泊ホテルまでのタクシーの手配をしていただいたり、タクシー乗り場まで同行していただき、心優しいスタッフの方々に心より感謝いたします。研修討議も充実しており、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・スタッフの方も親切で一日目はトイレに杖を失くしましたが帰りにすぐ探して持ってきてもらいとても助かりました。(佐賀県嬉野町) 佐世保大好きです。2日間大変有意義な心に残る大会でお世話になりました。
- ・18日と19日の2日間全国大会が行われ、長崎県は大変お世話でした。18日の発表があり、皆様努力され福祉会を受け入れ、積極的に行動されとても感動いたしました。有難うございました。
- ・準備、お迎え有難うございました。皆様ご苦労様でした。
- ・コロナも落ち着き、一堂に集まり大会が開催できて本当に良かったと思う。時代の流れでリモート参加も考えられるが、やはり全国大会は参加型の方が良いと思いました。大会当番は大変な思いをしますが前後の担当県が連携協力すれば実現していけると実感しました。



母子部

「若年リーダーの活動について」

母子部長 荒木 雅美

県母連では年に2回、各地域の若年リーダーに集ってもらい、研修を行っています。

忙しい現役世代の母子会員の方々にわざわざ遠方から来てもらうからには、出来るだけ参加して良かったと思ってもらえるような研修を考えています。

行政説明で最新の情報を受け取った後に、リーダー本人のプラスになるような乳がんについて知識や時には女性の企業役員の方からの講和なども計画しました。その中でも、特に重きを置くのは各地域からもらう活動報告及び交流です。うまく会員数を伸ばしている地域の取り組みを聞き、参考にしてもらい自分の会に役立ててもらうことも大事ですが、同じ悩みや似たような問題について少しでも解決できる糸口となれば良いといつも願っています。

その思いで支えて下さる皆さまへ感謝を込めて、任期満了迄走り抜けます。

諫早市

「アイユーコンサルティング様より 139世帯へクリスマスプレゼント」

諫早市母子寡婦福祉会



令和5年12月には、アイユーコンサルティンググループ様より、クリスマスプレゼントを頂きました。アイユーコンサルティング様は、諫早市出身で税理士の方です。母子会事務所に来訪され、中学生までいる家庭に、クリスマスプレゼントを渡したいと言って下さいました。資金不足の母子会にとっては、本当に有り難い事です。プレゼントの品物はおまかせしますが、お母様達は忙しいでしょうから、すぐに食べられる物にして下さいとおっしゃいました。市役所売店に納品されているお菓子問屋のM商事様

と何回か検討して、日持ちがして、すぐに食べられる物、バームクーヘン・チョコボール・クッキー・小餅になりました。小餅はお正月用になると喜んでもらえました。あるお母さんからは、子どもがバームクーヘンにトッピングしましたと写真が送られてきました。アイユーコンサルティング様はこれからも続けていきたいと言って下さり本当に感謝しています。

島田 美知子



新上五島町

「バスハイク交流会」

新上五島町母子寡婦福祉会 前田 美恵子

令和5年9月24日母子寡婦福祉会新魚目支部と上五島支部と合同で、秋晴れの中、バスハイクを行いました。

今年度は、奈良尾方面の米山展望台、奈良尾神社のある樹齢650年になるあこうの木の拝観、浜串海岸の大きな堤防やマリア像など回りました。

この年令になるまで行ったことのないところばかりで、新鮮な気持ちでした。特に大きなあこうの木からは、元気と勇気をもたらしたものです。



高齢者がほとんどでしたが、参加された皆

さんお元気で、昼食など美味しくいただいて、楽しい会員交流会となりました。五島は、高い所から見る景色や空気もきれいですので、皆さん、お元気なうちに五島まで足を運んだらいかがでしょうか。



壱岐市

「ひまわりプロジェクトに参加して」

壱岐市母子寡婦福祉会 市山 文子

壱岐市では、女性団体（商工女性部、農協女性部、漁協女性部、地域婦人会）との連絡会で、ひまわりプロジェクトの活動を続けています。

種まきの前には、畑のまわりの除草作業を行い、各団体の方々と汗を流し、色々な情報交換の場にもなりました。

普段は通り過ぎるだけの風景も、足を止めると、また違った風景が見えてくる事も発見でした。

市内でもひまわり畑を見かける事も多くなりました。仕事、健康など、生活の中で不安になる時もありますが、太陽に向かって咲くひまわりや、活動の中でお会いする皆様から元気をいただきながら過ごしていきたいと思っています。



佐々町

「ポーセラーツ」

佐々町母子寡婦福祉会

・令和5年8月5日佐々町母子寡婦福祉会ではポーセラーツをしました。ポーセラーツとは、白い磁器やガラスの器に好きなシールを貼っていく作業です。器によってシールも違っていました。沢山のシールの中から、どんな風に作ろうかと考えるのも楽しみでした。貼った後のシールの空気抜きは難しかったけど、一つ一つ丁寧に教えて頂き世界に一つしかない器が出来、嬉しかったです。作って楽しく、使って楽しい器で、もう一つペアを作りたいと思いました。 早田 真子

・お皿作りと聞いて難しそう!と思ったけど、私にも簡単に作ることが出来、良かったです。お皿にシールを貼る時シールがずれて大変だったけど、楽しくてまた作ってみたいと思いました。 楠原 琳央



南島原市

「親子クッキングに参加して」

南島原市母子寡婦福祉会 岡本 紀子

昨年12月17日(日)に南有馬町オアシスセンターにて「親子クッキングと家庭でできる食育について」というテーマで講習会が開催されました。親子で来られた方を含め23名の参加がありました。メニューはさつまいもご飯、豚のしょうが焼、豆乳スープ、蒸しパンでした。4つの班に分かれて栄養士の先生の指導のもと食材を切ったり炒めたりとそれぞれ作業を進めていきました。親子で参加されていた方達は蒸しパン担当でしたが小学生の子ども達の楽しそうな声が聞えてきて、その他の班でも和気あいあいとしておりとても和やかな雰囲気でした。



そして、出来上がった料理を全員揃って頂きましたがどれもとても美味しかったです。簡単に作れて栄養バランスも良いメニューだったので自宅でも作ってみようと思いました。

またこういう機会があれば是非参加したいと思います。



東彼杵郡

「喜ばれた支援物資」

東彼杵郡母子寡婦福祉会 一鈞 三重子

11月3日～12月20日にかけて支部役員さんの協力のもと、ひとり親世帯、生活困窮者世帯、会員に対して、長崎県共同募金会による「赤い羽根 新型コロナウイルス感染下の福祉活動支援」の助成を利用し、食品と生活用品の支援物資を配ることができました。準備が大変でしたが、「たくさん



の食料やごみ袋も入っていて大変助かります！」と笑顔で喜ばれると、こちらも嬉しくなりました。

これからも、会員も含めひとり親世帯の笑顔が増えていくいろいろな活動を増やしていきたいと思いました。

西海市

「親子ふれあい事業」

西海市母子寡婦福祉会 岸川 順子

本年度の一大事だった全国大会も11月18・19日の両日に無事終了したことは良かったと思っています。松本理事長、西山副理事長をはじめ県内会員の皆様のご協力のおかげと思っています。皆様お疲れ様でした。

令和5年度の若年母子主催の「親子ふれあい事業」を2回開催しました。

7月30日(日)は「さいかい元気村」でピザ作りを体験しました。出来たてをおいしく頂きました。食後には、介護職員による「熱中症対策について」予防法などについてお話ししていただきました。

12月17日(日)はクリスマス会を開催しました。リース作り、昼食は寡婦の方々にカレー・サラダを作っていました。

食事後は、西海市役所の出前講座を利用し、こども課母子・父子自立支援員の講演後はビンゴゲームで大変盛り上がりしました。



佐世保市

『学習支援活動を行って』

佐世保市母子寡婦福祉連合会 荒木 雅美

佐世保市母子寡婦福祉連合会では、令和5年11月より土曜日の夕方に中学1年生～高校1年生を対象に英語学習の支援を行っています。学校の授業では習わない補足的な内容で、発音の大切さや和製英語について等の目から鱗の内容で、補助で毎回参加している大人の私でも毎回発見の連続です。

令和5年8月に単発で行った英語学習支援を継続できたのは、ひとえに会の趣旨に賛同して下さった神川彰先生のご協力あってです。英語の諺、歌等で毎回学習内容を工夫して考えて来てくださり、小さな声で英語を話していた子ども達が、はっきりと発音する姿を見たときは、その成長過程を見てきた私は親じゃなくても涙がでました。

毎回欠席する子どもはほぼおらず、皆勤賞の子どももいます。あらためて、子ども達の学ぶ姿勢に関心した活動でした。



雲仙市

『親子バス旅行に参加して…』

雲仙市母子寡婦福祉会 久米 みつ子

『雲仙市では、親子がふれあう内容をなるべく取り入れています。8月は親子工作・10月はバス旅行・12月はクリスマス会を中心に活動しています。今回は、バス旅行に参加した高校3年生の感想文を紹介します。』

今年も親子バス旅行を楽しみにしていた弟たち。仕事に追われる母にとって、旅行に連れていく時間がありません。(私は受験生ですが、先日の受験がうまくいかず落ち込んでいました。)'気分転換に一緒に行こう'と母にさそわれましたが、正直そんな気分になれずあまり乗り気ではありませんでした。母がぼつんと'最後の旅行になるかもしれないから…'となかば母の強引さになんとなく参加することになりました。バスの中では、久しぶりに母とゆっくりと話すことができました。弟たちとアトラクションに乗ったり、動物とふれあったりと楽しい時間をすごしました。

家族と過ごした今日の旅行は、母への思いや弟たちとの思い出ができて参加してよかったです。私は祖父母の看病をしている母を見て育ちました。私も、大切な人を助けられる母のような看護師になりたいです。

目標に向かって努力していきたいと思います。

雲仙市 (I.K) 高校3年



長与町

「親子で吉野ヶ里へGO!!」

長与町母子寡婦福祉会 吉村 直美

今年度も引き続き学習支援を隔週土曜日の午前中に行っております。5月には、佐賀県の吉野ヶ里公園へ足を運び、みんなで歴史ある遺跡を見てまわって体験しました。大人は勾玉づくりに夢中になり、子どもたちも公園で体を動かしてリフレッシュできたようでした。また、共同募金会様より助成金を頂き、秋と冬の2回に分けて食材支援活動を行うことができました。準備は大変ですが、「本当にありがたいです、助かります」といった声をいただくと、開催してよかったなと感じました。

来年度は学習支援活動の内容にも力を入れて、楽しく活動を続けていけたらと思っています。

平戸市

「ふれあい事業について」

平戸市母子寡婦福祉会 濱野 久仁子

11月12日(日)西海市元気村に行ってきました。前日まで雨が降っていましたが、良い天気にも恵まれて、大人14名、子ども5名の参加となりました。お昼はピザ焼きをして、みかん狩りと、いも堀りもできました。子ども達は、みかんが木に実っているのを見るのは初めてとの事で、とても喜んでいて、楽しい一日となりました。親子で喜ぶようなイベントを、次回も計画したいと思います。



児童扶養手当が拡充されます

事業の概要

こども家庭庁 支援局 家庭福祉課

<支給対象者> 18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童(障害児の場合は20歳未満)を監護する母等

<支給要件> 父母が婚姻を解消した児童、父又は母が死亡した児童、父又は母が一定程度の障害の状態にある児童、父又は母の生死が明らかでない児童等を監護していること等

<手当額(令和6年4月)>

月額 全部支給: 45,500円 一部支給 45,490円~10,740円 (※令和5年度単価 全部支給: 44,140円 一部支給 44,130円~10,410円)

加算額(児童2人目) 全部支給: 10,750円 一部支給: 10,740円~5,380円 (※令和5年度単価 全部支給: 10,420円 一部支給: 10,410円~5,210円)

改(児童3人目以降1人につき) 児童2人目と同額※R6年11月分から(改正前は全部支給6,450円 一部支給: 6,440円~3,230円) ※令和5年度単価 全部支給: 6,250円 一部支給: 6,240円~3,130円

改<所得制限限度額(収入ベース前年の所得に基づき算定)> ※R6年11月分から 全部支給(2人世帯): 190万円(←160万円) 一部支給(2人世帯): 385万円(←365万円)

<支給期月> 1月、3月、5月、7月、9月、11月 <実施主体> 都道府県・市・福祉事務所設置町村



2024年度 全母子協 〇ーソングループ 夢を応援基金

『ひとり親家庭支援奨学金制度』



奨学金 月額 30,000円 (返還不要、他の奨学金との併用可)

募集数 全国 400名(各都道府県4名~)

対象学年 中学校3年生、高等学校(1年~3年) 高等専門学校(1年~3年) 等に在籍する生徒(2024年4月時点)

応募資格 ①ひとり親世帯(母子・父子家庭等)であり就学に関して経済的に困難な生徒 ②夢を実現するための意欲があり、社会貢献への積極的な姿勢のある品行方正な生徒 ③全国母子寡婦福祉団体協議会(全母子協)加盟団体(居住地域の団体)の会員、及び入会を希望する方の子供(生徒) ④会員又は入会を希望する加盟団体代表者が奨学生として推薦するに相応しい生徒 ※その他公募資格が細かく設定されています。申請用紙等は全母子協のホームページより取得ください。印刷はコンビニエンスストア等で可能です。

問合せ先: 長崎県母子寡婦福祉連合会 ☎095-846-8722



この会報は、共同募金の配分金によって作成されたものです。